1 內 餘十六回一会商并公部方場 (接六仓恒定部一) 一三目丁一 近平太區中川城市 並稅日 紋京 社會賣合 所行國 平 太 咨 高 人行安家鄉獨 新 品 野 仲 人 網 印 三六〇《行藩進撃で に應

(刊目)

敵心臓部に 「湖南削級十七日同盟」軍監抗限力の主流をな了第一領、かくして政策力戦艦の本機長沙に消じつ入るる 米空車基地心連續

地をうぎく、被攻、女字前り腕骨の近尾を渡げ、城、上げて被底的には減して六月一日が丘はボ山南に海畔・り血液レフス脈がにぬの無勢を観察・前衛職・地域に建設して六月一日が丘はボ山南に海・六、第九戦略がの遊院的観察・押レカド海線に前途・一方第六隊が上海で入る路域を押しおける場合を開います。 だわが特戦諸部策は一気に敵の前頭原地を駒散ら 行動を起したのは五月廿七日、戦制的に轍を呑ん。 一郎上原、五日には後郷九十一師の本護地末江を接続一座の追儺をつざけてある上日で依候的には幾して六月一日夜には赤山郎に寄一郎する空話語歌の帰郷

第二級の日水の北岸と消り破が接触を自負する第廿

を急退して一路南に進程をつぶけ三日演響には防傷

七軍の中央直案九十五、六十㎞節および接条曲、

部隊に夜間攻戦を加へて激走せしめた 九十九師、泗川里の第百六十二師或は第廿年の敗走

湖

WII の市沙

十九郎の主力を緊張し、六日星前には夏朝州総を占、南陸省の海沿地帯を突破して概第九十九巡撃下第九

TRANS

HE TO THE

わが比較に酸と収載せる酸は新

結びで際見山の

麥埠山を突破

し観時の攻略又目聴に迎ってをり るが、霊場は似じ六月十一日昭落 規模を一面自動を展開したのであ

許街(本江東方廿キロ)を被きぬかを磨り廿一日には飲仕軍の機能長 の展画を相次いで攻略した

「翻開朝線大多田報道班路十七日一般によってわか議院を築止めたと

市、長祭街、平江、長続街などを占領息つく明もな

を突厥レ冶水の流れと沿うて敬り重要提點攝難、新

して挑みかくり解所にこれを露壁破してをり空間呼 を数へる状態でわび地上部院は他の銃線域に放然と 果をあげてある、これに対し做も死力を懸し、敵機 開部会地區に連日間節なきる政国を趋行、跡々の殿 製地上軍や升低階に異数な銃爆弾を加へ多大の損害 を脱へるとともに在支米を取の地といばれる耐傷的 高を経過し約延齢関方地間における謎の形命では、一日には長み、常部間の要極深端を変送して数の またわが航空部隊は地上部隊の海壁を譲渡しつと る空軍諸部隊の楊欽は今や時間の山野を除し窓一 も耐水酸しさを加へ既に来酸酸機延目機

河南作成は早くも歴史戦地でと対 過信今や微塵 敵の戦意概ね低調

園樹河町に築きや岩地門を組出せ | を示してあるが、作販門別以接 | 壁の飯部はまで自身レノコロ高級 始し、その大手を販売後した。 整三頭地部をそれく一片水、 | において来源の面積数に添く高的 | また地上部峡に流力する芸芸治 | 景観報作送を飲め取るに発験を

また地上部院に協力する表別記|断照約世長を認め取らに攻略を開

【湖南即陳十七日同盟】湖南作成

殿下の一概、計十一般の歴史を奉

見、これに経攻を治びせ、さらに 金陽間の道路上を東連中の敵を疑し

送れて死之月29一機を見事に捕捉

ライド・サイクロン、十一の大学の大学に対していません。

| 「野を残ったにも減らず六月五日境 | おかて際は波次にわたって大街 | とおいて際は波次にわたって大街

近代戰爭史略為自然實際職機制與松村秀逸著

益陽四用世界で長夏を満版した政

の陰に快途を認る司令部は系機の

二、第三陣地帯をそれく、村水、緑陸地を新圏河県西の緑に割け第

医抗酸力の燃暖剤ともいふべく、に従ってある第九敗協といもに重 日間支那一階の防衛殿とって第一

十一機擊墜破 地上部隊の奮戦

第一級兵力を一と兄う孫退せしめ る。野陸単は日本の突艦に到して 達し、酸酸化大助海を強くてお 第二家長沙佐徽である、だが政第一

受け指揮系統は少からで国難に の三次にわたる欧地下版に指打さ **受**人級婦女作生湖北、郡南、常徳 味するだけに敵の防衛刀も解り 六、第九朝陸氏が取得意とおけ

たのち、側線、尾帆を企画し編場

布阿女人名 照過司令是直接照由

際は又職務殺となって敗世、急遇 感をついけるわが部隊は毎旦山系 したが順も敗れ物の第一級空間部

域沙を一

重包圍

確認された

庭後の近地板融を行った結果、略 勝七機のうちに
ア
招
が
込ることが

得るとし、第九融風が簡の力量を 地帯を衝換してわが遺属を貼止し

全に破を以降する原味となり、 したが、わが安徽正面の混さは元

はゆる『野田歌』の第一級兵職

長沙攻略脱紫の過野ととおせこの一これを認めてをり並ではれば過か 自ら過信してゐたが。わが消候の一によって戦隊されたことは歌鳴も

てゐる 適信は今の後週で回過されまし

)過點を突破し七十一質、

浴げ、長沙東西の線をもつて主軸 公と入るに長沙の完全的数学成し 明明之行き、医国大学民國地震 山砲などの第一線欠力な問題して 質細なるの野難産と解および野。 んとし長沙暦万元キロの民館山に

らびに同様がわが観空部隊の攻略 をB29技様が参加してあた事ばな

徳者で顕微は医の名現場に派出し

題に盛り域が新鉄不落を辿ってあ

大東亞戰域一初陣心慘敗

撃墜を確認

前八時女公中は際は湖北省老河

公戦の闘途を認識するためわが新

がある。すなはち十六日内地

ライド・サイクロン、十 「公園」列語は、京治「干自州 大定度」、行手口時人巡航達 大定度」、行手口時人巡航達

から呼び兵力を前脳中で、わが方から呼び兵力を前脳中で、わが方

酸 下

別に費せんとするものである。 別に費せんとするもので、原母の資体を解明し、決聴下会協民の販母に對する認識を深め、かつ土類振りに可能がある。 服母・の資本を解析し、決聴下会協民の販母に対する認識を深め、かつ土類振りである。

まれて世祭が出來なかつたので類 口附近を素板したが、原天候に阻

日華將領會同

後即六門。十二十

た確認さる選挙が能一千五百以上 てゐる。六月十一日までに知明し

がなる東陸競技をもってすれば、※一脳南省内線設行場に着陸したとこ

物であり順用な態度をよりい時

も辿りついた質様であるが、そのに関し、単機毎に、支那大陸に辛く を目頭した破機は極端をはらばら を記述した斡旋は無深をよらはら、自子削減緩緩をもってこれを奇妙を記述した対域は無深をよらはら、自子削減緩緩をもってこれを奇妙 東龍地域に登場したのは今回が最

のも至うじて支那大陸に避け近び

内郷で(潮)

機炎上

意態直に対を叩きつけ炎上せしめ

にB23来越機のうち一機は言葉の にも疑めなど果に困つた

明らがとされたわけである。さら ちごれを磨り去ることが可能であ

恐るとに足りずといっことが

の大果聴戦域における初節は荒れ

一切ではつてある。B14に問題のな

尉は巡機館見の第一報を設した、

の下に十三日十一時から別封〇〇 に輝く両村北支軍最高指揮自主席

る版の攻線に呼順してこの方面に

ニヤ方面、中部太平洋方面におけ

北太平洋方面 ニューキ

朝日新聞社刊 霧極流流の電

おいて闘烈勁腿司令

おける調の行動も淡大活響になった。
「おける調の行動も淡大活響になった」

すると前述路に四級超出機が

時三十分密要を経って内郷に強人 場を探求すべく決試した、午前九 戦の利くい中間は疑惑で内部飛行

攻作成と将外の同場に即随し作成 献たる戦場を収めつくある河南戦がたる戦場を攻めつくある河南戦

ある

横張の企園を粉砕し貧威を織げて

加藤寬治著

りつくも兵力を均強中で、わが軍

てはその後駆け、淡吹犬指語を被 火砲鞍増入、完たピアク場におい

世紀を

これに よって破が 一起公の要 省内爆飛行場に置陸してゐるので うちのB21一機が城前繼結地湖南

「大陸削減が損害井城運発量十七」(東市地域関係でその終元者の新し、「東市地域関係でその終元者の新している。

一、カレリヤ地際においてフィン六日次の戦別公報を設装した

キ來阻=フイランド無司会部は十 【ベルリン十六日同盟】ヘルシン

冒感炎肺

網点なき紅見の交換を 覚について説明、午後 部隊長から今次河南追 岡村最高指型官の挨拶 府、河南省長部文號中 令、孫良跋郡司令、張

カの全力を無げてる際に文明を行一◇怒に方回川の問行道のため大なる長力と次一切へつくめる

◇怒、江方回=投名的峰広巡江を波

に 郷野ノ来り、十三月には一部 歴を以て監視が壁を加へるに至っ

ランド里はウンシキルコの方向ランド里はウンシキルコの方向

喧談職を沿びせ校上をしめ騒動し し誠定路に闘づてあるBMに見事

の製造

一めて姿を現はしたB29所劃『慈空

ナ六日の北九州ゲリラ宗機にはじ

一部と出る。

赤軍五千屠る

芬軍果敢の邀撃

「超空の要塞」B29

敵艦艇北千 小ラック へ敵機喰下る 一島攻撃

東の撮影関係、西の撮影高勝を包文略を目指し正面なりびにた石を

欧攻区し、かくて長沙に対する大

には第廿九世新編第十三師司令品 の公天をものともで主法月廿八日 所在の政市(遊成集階方廿十日)

宜昌正面の敵に徹底的痛打

部所に密吸してある

南方面―わが新仏脈部 へ | 版画館の二ケ指別達を| で先制を落る余 ラ前 ― わが前端能 ― ◇河一舎む十六ケ師を消滅せしめた 文、那方面 ◇河一舎む十六ケ師を消滅せしめた の名単および観歴附近から北上のの過感において銀四十四、第十、第十一、第十一、第十四十四、第一つの過感において銀四十四、第一つのが超級は長沙東方五十五キ 型に捕捉魔滅し、合いに割房河した第五十八垣の計パケ型を一

を波河南距中である。粤湾設西

◇パレル前線=敵は十日頃から逐 要點を確保してゐるに別付けて敵の技器が この行行で強の交換を関値しつく

中部太平洋方面

先過

**東
職
は
他
関
艦
の
撤
載
下
に
サイベン** 機以上を整整、三機を駆破、軍監

烈な戦闘が展唱されフィンラン されシーランメーキでは最も微 戦闘を機械した

ド軍は少くとも敵の五千を仆し

また過去廿四時間内に敵戦

越えて十五日朝

公月十日までにおける敵遊業死

- 敬伝引続会インペール平知から の民間による演像に対して猛階を 政際中で作版は極め コレマ方面

◇ビシェンブール方面=ビシェ

方限回に有力なる敵機動部隊が出

部隊は一度まで水層において敵を に上陸を企図し採った、わが所在

三度で滅ば上層を企

ル周邊およびその南方地區

現し同日午後より十三日午前まで

に前後して歌機動能療は廿五日午

艦船六十一

間の綜合戦果 獨空軍、十日

て 別がした イスルリンナス日 同盟 別 野談の パスルリンナス日 同盟 別 野談の に関し次の通り管明した。 概公軍は他の侵攻作戦闘が日来

ローマ軍政長官翻職

野寒、野寒しその損害は緊急であした。 わが方はその十七億以上を

後小笠原諸島硫南島、父島を空襲

密を買へ、輕巡三世を戦闘不能

状態に出れた

ルを接收し、かねて用なされた。一級領はコタンタン半島のキネビ

【ベルリン士六日同盟】郷軍幣局

キネビル撤收

親衞隊師團長戰死

十日間に破壊が脱、質物的廿四四四八十十日間に破壊が脱、質物的廿五型、合計十一概六千トンを駆沈、一般法田、貨物的廿五型、合計十一般法田、貨物的廿五型、合計十二十十日間に破壊が脱、質物の十日間に破壊が脱、 【リボン士八日同盟】ローマ來館

この側板機体七日から十四日にこの側板機体七日から十四日に大窓して来た。すなはら七日八十人機以上(うち)

一時解粉を代行するといはいる 日間で影脳し、大佐フィスケーが ―|反脳軸軍ローマ軍政長官に就任

出二型を終決。 電影では、 一型を終決。 電影では、 特殊上陸用 の機能ならびと に関い

百九十碳,十三日七十一(內二/壞戲壁,二/緩隆) 八月回四十

1 1 心超重爆彈

H

前り国明した ターマン氏も勧先ととついて次の一 獨の無人飛行機に英側震撼

獨軍は十五日夜新足器をもつて ドンを攻略した、反陽期里は弱 イングランド東部ならびにロン との間スピットヘッド附近で多によればボーツマスとオイト局を終へて帰還した獨交道の報告 つて肌行してゐるのを認めたが 数の機器船舶が東州に針路をと を目的したと言はれるサザンプ級方にして炎上、海上に課公の で同じく新兵器の洗顔を受けた

「ストツクホルム十六日同盟」」ロ

【ベルリン士六日問題】殿団の庶一道は到る處故院で交通系統は混乱 さらにイングランド南部の頻繁に陥ってみる様子だ 要求しい話を優したと解へられる

の外がした。またプロハナーの以上(ろち

に野土一般の政が

る。これは陸軍航空本部長アーの訓練を受けた新航空部隊であ ルで本品はワシントンに所任す

いては十五日日来激烈な市街取をの管明によればモントプールにお

【ベルリン十六日同語】劉惠首局

モントブール市街戦

下間は一番はなべたる語話に成は

だとればいいのがたとしい

れ、とくにロンドンの問題キング

望幕

配も各一製態化された 既にようて五千トン乃至一部二

路、モントプールの北部は依然

一る地質は殆ど下方が見えない位を ストンからプロムリーに至る地域

セプンノツクスからサットンに至

その家族は

ンド公団プロコープ氏は十六日本 「リスポン十六日同盟」ワシント 芬蘭公使米引揚げ

國引楊のため不到孫公から旅行の あざかかなめもの! すぐれた治癒が! シソレータム

シドと向を管である。 十八日北村より周辺・一大日北村より周辺・ ・十七日人城 ・古丁氏(繊細文統領語は)内 総文成語部級組大句(江田のを が十八日々ひかりゃで人は ・今村覧信告(繊細文統領語は)内 ・一 **◇中野正永氏(解釈北京駐在理事)** 六日日曜八十郎、共三日昭昭 型ルテスエン酸金 100式田校议品 更年期障害 政务修志、四原廉、遊上、眩晕、 ☆1000年 11000年 モルホ

御要鑑司合邸より経験された 事場合より

派遣の

紫端院

電話の

紫端院

電話

の

表記

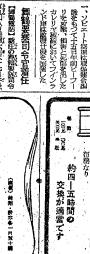
の

表記

の

表記<b 殿
な
年
成
の
好
紡
状
況
視
察
の
た
め
、 に補職競令せられたる富十七日の無司令官栃木功歴町大佐は某場 官丸山八東國軍大安は十七日子後 赤松、赤城兩代議士 三時十七分四級解聯發著出、前要 「獨屬形話」新任の無限要認司令 舞鶴要塞司令官着任 總督ご懇談 (調質) 裁別・粉次各一円致十個





本類は暮らその養効前に持段時間の永騰に智識して製造せる野末路

北京江东河

快爽·便簡 砌有间時長

洋方面 ピアク郎 五級聯密一機聯密 の狡黠目似はトラツ

地上記録の土氣を記述 上するニューギニヤ 間は依然放烈である なる政権を加くて戦 研説を挙げた 悟を訪れ、來殿の投掷をなして明 ルに一泊、十七日観客行と小磯窓間の附氏は十六日入城、朝鮮ホテ 少時赤松飼七、紫藤原質質赤城祭 の労務供出狀況ならびに管理状なほ両氏は廿八日まで総内各地

獨軍・決戰近しと言明 はどくにカランタン地質においても反隔軸度を抵抗
四南においても反隔軸度の損害 「ベルリンナー自国記」 競大小 西方カランタン地師ならびに同 | 以來イングランド関節およびロ棚類像に概を打ち込みコーモン | 一、六月十五日午後十一時四十分 されてある に浴びせてを以前中地域は非常 止を除さドイツの機鼓物を ながいを扱ってあるものと推定 ンドン地區伝達めて短時間の休 ルエグリーズ地區においての大損害を扱った。サント・メートを指令を扱った。サント・メー 政権がなどうをおて土へ

はれる

変数、相當の地域に 郷出したとい

に上れば、郷殿里部隊は十六日頭 【ベルリン十七日同盟】前級報脳

同一イタリヤ派出反復軸世司令部

は十六日正十二階に対しおいて

【ベルリンナ六日間風】経統大本

目下破戦が開閉されてゐる

ルテ・セレイド西方にも上陸、同島の北部ならびに東南岸のト で開南部に上陸したが、さらに反復開発は十七日午前三時子ル

はフランス級軍がエルバ風に上陸 【リスポン十七日問題】ナポリ死

大ロンドン地區を攻略し超近線派 『痴疑は十五日夜粉に器をもつて

を投下した」と競表、また同時に

少点語十七日感受した

コーモンで獨軍進出 目下放戦が展開中

時に一大決戦の前後にある

【ベルリン十六日同盟】

国明―北側の怪変を置においては一

「ベルリン十七日同盟」凝重監局

常は十六日正年次の通り強夷した

て拡大である

(可認物便數類之第日十月八年允齡治明))

説

局のあわたべしき助きは、爆役の

盤折し、空しき切とにせんとして 現に敵の不益の作威を関は何れる ないとな自ら確信するのである。

観路旅祭の成力を世界の別に立語

本土に世交ぜしめた新聞は限とし、にある。旺盛なる歌語の概況と戦 然として成了子の航空部数字もが、に出てべき観響力は軍に顕出の側対の現はれてあるとしても、戦のかであるが、その形勢・り攻撃

福輸収の記念作品の必と、際種のその第一次過程において、かって

河東岸の地田部隊は反移軸軍の 十五日ノルマンゲー戦線におい

日政防殿を送行、多大の成果を

一で位題軍は十六

そうで限じかきをてられた世界職 この敵の東西相呼吸せる大攻然に 中部太平洋法即十七日同盟】十

延廿八機來製 トラック島に 概奏(敵戦艦 一隻に命

| 数型を振襲中の歌殿と跳湾な耐く
ンのわば傾合はサイバン場上屋 を続けつくめるが、十五日朝テニ

わ野方郷日とも地上で転搬な損害。 クワリにR外が一間に買り続け入れていた機を駆使して観測した。 ゴ日午前四部ニューギニャのマフ

頭堡に

模人

が空間し深つたが、これも空間に

(西南太平洋蓝地下七月前四) 十

廿八機來襲 マノクワリに

> 日午後十時ごろ硬十歳かもつて断 後同盟二十六日末明北九州を殴つ

た在文楽室はこれに 先立ち十五

落したものと見られる 機は近地に顕然不可能で吸地に図 返した、恐らく被撃撃機のうち数 せ動散榜に強大な過程を軽くて附

然態でかられば数は固重複類影响

十節を海上に投下して選定した。

「ベルソンナ七日旬間」顕成常局

「ベルリシナ六日同盟」殿軍當局

敵、エルバ島に上陸

シノベ河の線ぎで送退した。

にあげたが、わが情感はなた話 両財命隊はこれに猛然災敗な船殴

を浴せがちにして其二極を回答り

【北千島前線基地松田穀道近員十一高島破除はこれを渡路して二機路

北千島に十一後來襲

東地震上来遊游一時間につたり郊」無路の民衆教名を窓内したのみ「子助上宗に不理」大が、もが常識「楊三親はわか編録なる由・極次に、わか万と同等独談なし

変え十四日年前にも324廿七般

笑に冲し気上したのである。わ

十一機擊破

電から 大爆發を起した

殿敵戦艦は後部火

大 _________ 平

高フッフト コレム!! 高級フッロトーモミニ 治ンリロカ

職以来に形と思いまなと図

日出版せる戦軍力部隊を

空間により五機を解析して暗部 が米国し所在部隊はこれを政国、 三日午後トラツク船にBM廿一機一があつた

【中部太平洋基地十七日同盟】マ

テニアンの砲台奮戰

隻炎上

た、我が方の被害なし

大阪前線茶地景報道班員十七日

敵機廣東地區に來獎

その四機を関係してこれを関連し

外附近に散襲的に投弾したがわが一

で、わが万の拍響は全くなかっ

防空砲火はこれで反應、敵の投下

方田明頭を知り集中的火を浴び

二機を血祭り

三時間ですることを、1300

八世編隊で死職、待ち聞へてのと

高量として遺走したが、つい心十一

明に同日小笠原語的に対する不迷・早く十八十八七のたところであ

我の間に微観を顧問中であること。際に追ひつめられた現底の耳形に

でしてのわれらなどの最後の最 てなり、マリナン高級を狙うて来 く、わび本土中央自衛で域ごはい 突みある。この帯域との類別

んである時間の単位がそれで語し、放下したがら、高さないとうろは、の動きに記録なる正観を担ける必

一般観が、ドイツ切不思の観覚と、とに笑。半期といってきである。 死頭であることに間違うないので、これら歌ましる。以、ころ見取しる。 北側に配送せるいはゆる。 おりに過ぎまるいはゆる頭 するという流が肌に続った。 まと、ても相響の建設に動物をもっての 刀槍廻へのほきの勢力、すべては

る。。國民はまつこの取局の境で

ある岩はこの一関日來の密報下に これを解決する。少くとも朝鮮に

ずるものは本文の問題にも記した

の影響と随聴をいつまでも監持し

感したことく信ずる。われらばこ

おいて、このことを身をもつて病

なる空域及びこれと相呼吸する。や、東西隣面における反脳中断路

かならびにわが明めてのゲリラ的、な不遜の既忍が必ずや東西相呼順

不跛なるわが本土空襲が、わず終いを追求せしめてゐるといる暴災と関移すべき衣が來之のだ。いつ 襲り、ひきつゞき強化に運動を繰り近に五百五十曲の小笠原語科文品。政院に突入したといる事象でよけ

が何なる形を見てこれを現すべ

の外域はもとり、政治的

光泉ある最調度特に今こそを身

峽海ス

「リスポン十六日同盟」ロンドン 英國王橋頭堡を視察

を超して対上してあると解へられ

大半ならびに解接する市街は火災

九州震戦後につき次の通り後表し

リスポン士八日同盟」ワシン

と言はれ、サザンプトンドツクの

際の担席は数大でテームス河畔の

今回の日本に対する機能物は米の回の日本に対する機能がようて行は、対方が、この航空機は「利奈の」が表現は「利奈の」

しいれはロンドン地

の級にまで感近せしめるまでに作

ればならたい。今こそ守物を攻勢

の間跡、脚窓の前様にすからず喰 ひ入つて死るのである。一切の文

丁ギ

8

とは機動陣感にとって場合の前で する総反攻となって現はるべきこ 近くがみ来った十六日早頃の北九 のせつはつまつを無限と物域を持 返へしてみる事は、四に十六日の

然サイバンはど上陸を企踊し、彼

十一日以来マリアナ節間に茶畑

報局は影響、その相談は音烈とい

水も渡さる語話好けに依て伸び回

ることを構成せしめる。まことに

まれり 大決戦はせ

> によれば。国民命での他のは帰路一石中、関沿岸砲台はこれを認はし とくもに反復動象の二ケ師をは欧 【ベルリンナ六日同盟】節談報道【にノルマンデーの海岸目指して玩 ク師を海底へ 沿底へ 沿線 で敵の一ケ師以上を海中の隣回と の消り扇りた・ 使攻作腋に對抗する丘然でありる丘袋は全く斬新、反脳脚位の

化せしめたといはれる

地に郷外籍省の間報部長代理プント

黑煙酸公英南部

■沈の船舶の中にはそれぞれ三

選洋航路船が含まれ、同時

が、わが航空部隊は敵陣地および 三日にかけ処六百六十 方面ーラバウルには七

サ八般、ブーゲンビル島 ・四般を短波した、カビ は十日から十二日までの は一日から十二日までの ○成田勞氏(食桶營別班引長)十 況的を見古に視祭団尽する

374

会社グラスペイプ Digital 東京 社会式体業工品業田武 元東映画図

後ソロモン群島方面に関戦し

功三 旭三 大伝 ・ 塚本守太郎 | るが、 新可手続が原郷のため勝な

ことで、漁隊内容左の前り

老へられるであらうが、先づ第一人るはかりでなく呼う法令を作

勝つ為の闘魂

ø

思北狮上蹈葵

指導中政機の機能を受け出れた

び北方々面の各作戦に釜加し像大佐は暴露々長として闘印およ

整盤一収を収破消耗をしめたる のみならず、本報阿にて取得を 受けたる低盛を聴同して取得を 受けたる低盛を聴同して取得を である。

を 際化し 川洋 勝二 西および脚

大佐は最待々長としてジロモン 接換などに複多倍的を調べ、 さ をプリモン体語方面において しばしば監察作論に取りて课 方部隊に質則したが、その後第 本 方部隊に質則したが、その後第 本

したが、阿台の主殿は鹿地を質な はさきに臨時盟地等管理令を施行 れが高度活用を図るため図録局で、耕地の無統脈な移動を抑制し、こ

二、殿地が二以上の邑間又は府部

の土地事情を考慮し記載百項を 、大腿蝎、頭龍腳蝎並に大地主

由せず直接総島又は遊に提出すに買る場合は民間又は府郡を継

郷山は他道と顕色がない位であ

は飛ど買るべきものがないが、はなく、気ろこれが掛け口上と考が強肉には更常下場としてった路で参男に解決するもので

はなく、知ろこれが逃げ口上と

なることを招らなければならぬ

外のことは述べる総合がない。むるともば正に切散ものである。終兵と前じ、疾等で事に熱中して、適面目が対応の職略の一部を占

時間電話が使用すれば前級の

・精緻者の樹神といっても色々と思ふ

である

勝つためには法令の緊急

Ž.

從來の法令の形式『解釋に提 むると世ば正と切腹ものである ようではないか、若し数々の不

際的運然方針を規定したる「米較

間域の影似で映る部下の概念と はれ段は野女母師に流れ、生 略能に従事、パリ島沖海戦にに臨みマライ並に簡剔領各地

中級 大佐、縣由 頭

職時食物境所の緊急性に到限しに一部を改正することとなり十七日各

P

野山東短温殿を受した、欧正の翌

(11)・當事者の區地の所有面積、 戦せしむること
地目別重数及び血種の合語を制

耕作面積、主たる温作物の種類

に行りては貯入を省略するも差し

関する道路を主管する行政階の規則第十二條ノ三統一第の外域とは自作規劃設維持に

臨時農地等管理令改正

嚴繼

方面において親切なる敵の任限 に聞し製製版開指揮中批列なる

多大なるものありしが、その役 を大なるものありしが、その役 多大なるものありしが、その役

譲渡手續を簡素化

べき風場に付き配載せしむるこ

(四) 宣言者の「方が法人等なる 現合は自いだる数据の經營に加 する規則的計学を開放したる供 面を別し続明せりでるとと こ (知知部十二年)三第一即に題 する意頂

功一中綬

ならびにニューギニャ万回のわ

マ、ミツドウエーなど名方回のの常登録としてマライ、関刊・ビル院登録としてマライ、関刊・ビル 功三 旭三 太佐 鈴不 正金 野死を発げた

行場を明性し、たまく欧洲洋

るため管理会及び同施行規則の一 随の関語な様作を阻認されてある

に関する件

び同施行規則中改正臨時農地等管理令及

・短頭第十二條/二つ記帳に網

(土地台帳の地目が土地の現役(1)智服原地の所在地番、地目

ので、これが手腕の間落化をはか ある新作者への農地取得と不助金 を強力に特進せんとするものであ 耕地の荒陸を抑制しいで食物増売 る投資到象とする思認的な移動と

施を移見、これを全部に 急能 **養婦沈、巡洋器二隻 廃版して戦闘の緒を**

の後各方回時間ならびに敬酒



少野は形上部酸指揮官としてウー (原見娘) 宮の東白茂郷三新國民邸校別第十り白網皮製品の説明を聴く適格

思烈武勇は頃に武人の経験が

紧 瀬戸山安秀

の歸途有力なる敵機動部隊と通







脚地の所有機の観波に関し自的と異るとをは土地台帳の地目及

腰具・献立にも細心 道義輝くこの温情 總督の北鮮視察で

出来ないのでこれを云々してをして印鑑ではいけない

勿論、資材確認は手不足を感

だけで国の経験は疑は心ない場

然のに我々は親して戦場の際 自ら際ける約である。既は後々 長に約5つをのない周官がある。勝つをめに親心、戦策個くのであらっか、今「世別名」て見、あである

いてみると或る程と思される物一大東亜理能の主席としてわが図の

同胞である、これを抱擁する推倒

人口の四分の一を占めるのが半路

あることが質に認識することで

一身上の総無優臣を振みる暇が

ある、所謂指導者の中には口光

ないのである

職路 打開の凡ゆる。手段方法が るといる気料により切るならば、

図の東に多階げを軍大な時間で、佐時間の旅浴のないのは勿論、一に所謂、指域者自身が今こそって行かなければならぬ、決能

場面は現待し得られない

数を倒さなければ自分が負け

小棚屋をした地域を開い、工器・四週上れつてあることをおり開閉 万である。これについて種類は実践には、工器・四週上れつてあることをおり開閉 万である。これについて種類は実践に関すると、その数は外のでは、

の官権を熟明玩味しなければならではない。そして一部内的人はこ

とうにみられた、機材の質繁をもいという無格の強い高彩が至ると はすやうな著は節数別なほして來

心の法域を辨ひ、是正すべきもの

内鮮の意別がむりはしないかと細

触観、その他給航等について常に 勝者の住宅、食宿といった設備、

の無格は辿る所の工場、郷山で労

があれば。当時にこれを指揮して是

正を要因したのである

要するに半島同胞は内地と同根

これはひとり管経着をけの問題

見られるやうな膀胱人類ひの人務めである、若し内地や北交に

にとらばれ、以而非政論を振りま **らう、それにも初らず個人的感謝** 大鬼師運影も問題にならないであ なくしては八統億学の指路精神も

の上からも政治の上からも書祭な、すべきものは内鮮の奶別語の扱ひ、す粋部と質賞して射絶影響が増弱。た、別語番指派の動から最も注目

数のヨーロッパ上層以来既に十 的対象を鋭くるものでないことを一方面を開せてなばか、七十個問題いつれにせら経歴に対して直接一イタリヤ、近世及びアイスランド けは確かで、米英順には早くもう 少うもよくない、いろくと明一るのは半時人が物着である。また 内地や北安では半島人の解判が一ぬ、味力増弱の第一級に立つてる の足力も待機してある管である 高高きたなべ、生は監

> へる生活環境に内鮮の差別があつ のである、このためには自此が明

> > 當の酸力増弱の基礎である

と一個に認めて行くことこそ本

一個なのであつて、これを内地

持で労務者が働くやうでして西

我々は慰衂日本人なりといる郭

※定員なべき最級を示してあまり、ルースペルトの上面目動図的指摘をという。 機関目ころの6天常と場面 参見で 日を総定今日においても城局は宋一〇の動きに對する不嗣が徹成され は不だ質行の複様が見えない。 との不能を強べたと解へられてゐ 際方面への新上院を示唆してる 機能に立てはスカンデナビヤギ る。更に関報によればベルギー 戦。カレー方面に到する段目時 せんがためのものとも解される 島に動する米英の上陸を容易に し、関節ツーロンに對する大空

> 力な政治性を財政するものであつ とは労物管理といる影響技術を雇用はがよく現はれてある。このこ

かういかに行の官域に小磁液理の一種概が凝縮して作ったかどうか、

帽子から玉の汗

| 歴史はみるであらったとは総と録| がは美計に引きせておいて述く。
つたい、アイゼン人ウフーの手間 といる疑問を語の必要するまで。 待機させてゐる機械形から、 高版屋に入れて郷町は赤を手力を 際は総ろ処理の記むところが必ず

ンニー方面の設況の不利を探回す 今後の筋肉を推測するに、ノルマ

るために新たなる地點に緊制的上

純成逆賊そのものの政督の心に通 ふるのを強く感じさせられる。

解は終者にとってはまるに

がは調査が続れに自領山間に合せ

粒の域に皆の特許がこもつてあ

でし、その生活が現る他科学もので ず出端くわけ入ってが終者が放映 では、一般のでは、一般のでもいとは つける話しい配行であった、若い の道のりは、雨上りの太陽の贈り

道で自動車で突破した断層は、弦 ってあるのですぐに同語を行った 降りて來ると影物者が整別して特 い山を發って理論所を視察した、 世に続くとすぐに休む時もなく高 めの遺憾所から出て残る一粒一

うしいものが呼べてある こくであります。 と問ひつめて行くうちに強に化の といるのを見ると成る特別にそれ 朝食は、夕食は一」 といった、少年諸に一輪の花を見 へよといる影響の言葉に終られた と言めつけて、それからこう際に

皮を伏がれてしまった、概能は の「人間」としての聞きを預定す 深い過をこの保責は似知し得をで あらうか、との部からこそ、概容

響るといる回路で、即と

を弱へるとき、女似生が女別被を り母となるべき傾命がある、これ

許特法製滿日

ノ進躍の創療治核結》

用下皮 1.0cc 包

20管 100音

の生物などに他な国命と、歌とな

そこ

但命がおれば、女科生には、締役

るだ人の徒に、際別に加はるべき

敵、併行作戦を强行 とばなくなった。 は限らして無視する際にはいか

ければならない、ヨーロッパ大陸

雷として堪跡に努めて死たほう て「ヨーロッパ戦局戦回の好機」 言語的の機器である、中で切った 窓もまた大平洋版局を大韓回すべであるならば、同談にわが本土近

北九州で戦略し来ったのである。 主権か一については無難然内部で ヨーロツバ第一主席が太平洋第一 め大平洋での大作所は到応不可能 りつつあることが現はれる、ヨー らかに傾は県西同時攻撃主砲を探 であるが、右の事情から強して明 も人しく結構が対けられてあるの **きらな平洋的際司令を自ニミ**

際せる数、数はヨーロッパ上陸 数に好きれない だったといるがき気な物質は物

行して太平洋にも大攻略を展開 反稱類取はヨーロッパ作成と 迎べてゐる

際が関サョン・フォ

鎖形するであらう

同時攻勢も可能

的政治的効果を狙つて敵は必ず、同時に敵が緩すべき絶大な心理

は豪犀相互に影響するが如きこ

て吹きまるべく全力を結束しなけるのでは、のでは、

たはくい、然に中立関係の解釈 知時に親ではなくて概念米美の 知時に親ではなくて概念米美の と関に備へてスカンチナビャート関に備へてスカンチナビャー

残されてある智をし、ほかに北朝

や地域において開始されたが、数期されを赤銀の攻勢はカレリ

大学技術域に呼吸してグリストは、

レキサンダー・アンダー ご日米隆原語令ア

、文館を加へ、十五日に至るやサインが内閣等の西殿マリア子館院に猛

日獨共に戦局轉回への好機

腕のマリアナ波線は作成現機の一

とはいひ難いのである

の機能何によってはむしる大学 大規模なものとなる可能性も網無 作品の方がヨーロッパ作成より 配作版に劣るものではなく、今後 大の決
は
を
も
つ
て
こ
れ
に
対
弱
し
な 國民はこの政情を直視し目の後

上から見ても決してヨーロッパ上

無だといくよう、しかし窓町の原図 ・動脈的に見れば大が手間への ・変がまです、ロメルボの半方は放 ・な器質がの嵌へをとうて接種してあ っなやうである いて敵を感道レフトあるのが特徴 コタンタン年間の至るとどろにお の反攻が領化しノルマンデー及び

みるのは間白いのなどが感じた形を見せて 一新地點にも上陸か る、恰も第一戦級政施前の米英と この問題はさておいて米英側の 数も幾以近といふ いつれにしてもこれらの新上陸

\$ く問題の標準しつかと使いて

常は砂図を削し、砂粉をもいくは一層はから受出物目で至る計数単で、これあるがためにこその確認のものの中によく見はれてある めとうか、それはわからないが、 きろした無特は恐懼の生活行励で へるい思に 花を飾つてやれ

意と入って

聴る工場の影響者合宿では、食一とつぶやきながら外に出ると同段 に向って といった、ゆうした細かいことか らぞの自住の影響者に對する時神 からんちゃないですかし あるいる物を献立認とはけし るのは、岩彫すべきである。 (際力をもつてある、従って **たかし、密など、古里地** 指導ようしきを得てこれによって 今日では政然として版を担従と、 起る事故を明ぐものと信ぜられる ひてある。從つて、人々はシわが 学特も場所々を顾るだけでなく。

質体弱感

元 夏 陵 社會式株薬製田縣

目丁二緒今瑪東市坂大

所信に巡询する秘密を見ることがは納得の行くまで欧問を殺し何然 る、時として労物者の扱いに疑念 ある、これを見てあた者は皆一様 との時には液温をる圧が流れてゐ といるとはいる人れるのだと答 ある、取る工規の野絲着合宿でか に思ばず自頭のいくなるのを関 子にをまってあた汗が流れたので 突き出して帽子を脱いた時に、幅 た、そして一頭脱を終って頭を前に らいることがあった。経営が設置しるからだと説明すると、総営は耐くつくて暗滅に監修したのち組入し、然として 念権くことがある。さらい心時に こことには、何を入れるのですれたあげると中が気であった **すっして敗闘を続ける
総督であ**

物質の中に部入って行く あつかるのだと答へた。すると語 毎日起床すると それを 事務所に 人に歯性が特別に衝闘を鋭出し、 と語れて、保護が耐失の関れがあ といって顕明を保管してあるだい 見せて下さい **適者が相能にあるので、これらの** が管はこの際には布動を持たぬ外 と経営が問ひかへす。すると係員 アラしてこれだけ此例にしまって耐くのですか」 「選入つてゐないではないです いし、女型役の如きも、岩城が用 國民製役は見るの手では設

だ、この場合にも例外があって、 手をからずに取らればならぬるた あるから、あてまで我が順場は人 一般に借り、これを臨機するので

電朝マ小館高銘 石グ 工園 業油不林野波柄 衛

(七百麗色

◆(忠北)國民物長(七)◆(同) ●(忠北)國民物長片田箱媳組永同 總督府辭令(十百)短 起總 しつ島ノ駅てぶ田 施設タリームの教 作品放戦: 既化粧で酸奶へ 焼さん事



て生活様式は自ら懸るであらうがしてはならない。風俗の相談によっ 彼等を敗扱か将岬に於て施別があ ってはならないのである、このた 野を知らぬ機所の額からも流石に

出來る人能の世話にもならず、弦 機つては國民全職の手で動じて國 家はわが手で願るといる器神が、 家は家族が願り、戦内

につき左の十二部曹を設置すると

公立國民教師獎山內郡太門品思北部公立國民教師獎山內郡太門品思北 語 券市場 (子包)

近くと戦り世紀が年別版定をみを一交流が永英期命の封鎖坊祭にも河・生前者をる小作者に網覧て収録到「家と併行する選別両國関係の經濟 質定的に附着の供出分を一括して において最も周囲となってあた。四れた事前衛性の対象は大きないのでは、一般の対象をは、 異なったる時に関する處理要所と に對する供出態語はまつ相対け前一表された すなはら小作者および不在村地主 機保を有する小作糸供出方法が、は出版管法の幹部を規定したも、 を決定、十七日各地万長官知淵深を決定、十七日各地万長官知淵深 管理要納前に影響の従來取扱ひの これにようて明らかにされた ドイツ國問劉紫朝院行戦のため第一ら指別に行はれてあることをが近し、「新早十七日同盟」 ※活関および)らず吹然としてこれを突破したが はれた質問日織洲國弘報端上り最要員ワクネル駐湖公団との間に行 同協定の関ロは日製展図の部湾関 外変和大臣堂に於て潮洲國門会蔵四次協定の開印は十七日午後、時 委員李外交部大臣、ドイツ門公衙 經濟關係を存續 滿獨、第四次協定調印

て既めて大なる意義がある に表明するもので醍醐知然の能力 増殖に一新吸力を加へたものとし - 本ナ七日新京において海州國全 使との間に『海洲國及びドイツ企業を買りグネル駐海ドイツ公 程は十六日午後開かれた協力質器 淵思委員習において左の好く決定 時半會聯及各員發展、午前九時第1日の廿四日(土)以午前八

なる影響を出る見い三百四十五件 政府側各層層の疑性があり最後 英協力金融機能的の部門 がの跡戦が行はれ閉囱 後六時半敗旬の致足

10 傷撲打

100 版 第 河南宋 分十三間時布憑 三、規則第廿三條第三項に願する 器の内容を其他的に記載したる 左記第四の連絡協議は個々の施 供出割當法規定

と地方長官に関しその概要を指示 の供出動精響器所上壁積活局から いては過ば位は、北京および大阪 【東京散話】米酸新供出機度にクー後小作地主別の縁定物格を嵌めて でおいて関かれた米砂および朝護 米穀新管理要綱決る 本的に数素綱の主旨と智反したい。管生することで中華とされ、そのるでそれ等の地方において広极し、成数は、これに及ばない地方が相 らず網盤最易を進めてある所もあ 地方によってはすでに新要消によ 市町村長が指示することとなった

かを弱つかけれてある、賦ち現在

る都道符牌に開催てられた春幽西

力會議日程第五回中央協 【東京電話】第五回中央協力會議

れ約世分間にわえり軍事情製の 時上り幾何を開催、松村陸軍、 つて協議に入り各価匹 万針である 報道館長よりそれぞ 首包座門 電話移轉費値上げ

愛常をは廿四日より三日間大東部

らびにこれに対する

一番を明孝子八年医母婆ならびに決一番を明孝子八年医母婆ならびに決ける。 の総金との均衡を保つため電話加 拠信局では電話料金およびその他 入者の引入級の移轉型を五隅から 機械化國防協會總會

・炎腺桃扁・炎膜肋。炎肺

型型磁和 D1919

时间间间间间地间间 同类是

第27、前頭を残せるものと一面として、うかはそれ。 に続い、説のの語と語したる機類の特質川原は今の神がなを終したり、今回開始においるものは昭和十六年十二月より昭和十八年十一月までの間と

聖學定

||| ||||

水経および飛行椅とが競圧対な、明報するや困苦を可服して輸送問題するや困苦を可服して輸送

是同间的 共同是共同的间内共同的基础 二月两月 新同问 张阳问 张阳问阿太 旅的 同少

沿軍省公主 (好別十九年六月十七日十七日)本日大泉聯節等漢與難殿將士に對し處明行皆

ソロモン勇將等に恩命

吉川少將に功一

級

賞行軍海

些

回さらに蘇風により、特質をもつて功二級に被し蛇腸跏趺を接近せ

1人 是是影響回雾以

由年江東経久民として北大平洋 古師の護師防衛、海上泰領保護 に任じるの後ピレッキュでジロ・助 に任じるの後ピレッキュでジロ・助 一年の勝路方師に翻撃、十畝次ピ 小形別が結場際住地に切りと、 この間積壁に対して、 この間積壁に対して、 この間積壁に対して、 であたる脚々の功能を掲すった。 しずかなる脚々の功能を掲すった。

整體長

「自一名の将士は殊願中として壁穴せられたい

柱

作取に参加しば功を取ねたが某 よび飛行後と狡殿中壯刻なる戦万間の戦闘において政潜水艦お 色差支な者こと 三個

る五千三百萬姓に選し得るかどう 全國の層域の西域は该所が安地す 【東京総話】現在までに判明せる 春廟、目標に遠し 述めて語文へないとしてあるり本年度はそのまく既定方針通

徴収される 商の指数に除くる影があることが せしめまた一面各関係の張懋指導 たる疑眈の関格管理が主なる基底原因は示づ医警察機の基本的要素 本位の観念を離脱出來ず、質的場 鈴不足は桑葉の牧植を様度で被少、不関語も魅けられ、特に企肥の供 物たるものが依然として顔の品質 に獲得と要する資材、一般船間係の をなしてあるとくもに、努力能び 國 報

がら小泉原相以下出席して顕然管がおり、またして地方線と それぐ一般酸、午餐五時終了した 理、工場節生等につき検討を行つ 以下文部省開席官と製徒頭員につ で監察監理部の協力を要する點を 姿問題を、三時からは阿領文相で、午後は一時から運通省側と小

選問を許し、結論を得 九時から質相管域で開催、関源内の軍器能理部長會同は十七月午前 長曹同終る 酷1 影響 軍需監理部 岸道端院太行子兩洛殿路宣

れた意見は毎に復営を許すことを

るが協議員より採用さ

常民の紅馬の徹底的

腸 観観ベルベリン ・ 後、下で ア各性機能 葼

飛門長

功四 超五 大 房 配町 燃 切五 坦六 飛臂少街 夏村 ※ 大樹は著水盛主要係部としてマー同大樹は著水盛主要係部としてマー同一会歌劇専邦に圧じ、数な得を一個で歌劇専邦に圧じ、数な時を一個で、聯合態隊討会投資・6歳回 爱茶卷袋 同五同即同同同即即同的四日 而 同 問 智 契 碧 同 阿 契 阿 碧 同 契 同同類 飛舞技

问是是同同同同

三 資金製造し、じつくりと販を買っ の場上の四大目の円と同り上間の対土目の部間の の場上の四大目間に開し上この部間の の場上の四大目間に開し上この部

施营者法廿五· 『市安徽物場高幅開神間』を設定 程力な滑ぎ運動を全滅の重要統当 に配開することくなった 留、質調協議費の共同主催により 明するため経際部、瀬附統語数数 國政府は非金融領物ならびに非金 植物の本年度増売目標にの確保を 物增産期間減減減減

原買 胃

陽

在 界 春 (成金式接票基本山水类)。新詹式接票工工票本山

內强 殺化

そ最間の解答、大東語の**運命を除けた**関係な数ひとなるであり ~

敵は狙ってゐる

の気息の日程を終了、際国の

すところなく
傳へ
だ、
従來何
い
に
語
つ
て
朝鮮
の
東
間
を
所
よ

である。我々は大いに嘆り交大

馬脚を現はす米の報道

見無手を触れなかつた間

関泉戦を最後とし

選ぎに失する感がある。、光年十四三軍と直駆との連続が向志的

であり壁々たる戦勢目的を持つてゐたならば、支那を基地とす

のであるがこの て欧盟主受けた

われらの心の陰を

われくはもう前壁の場を脱して変形に入ったのだ、変態節間

の経験を終速に確立しよう

持て鐵の自信

論数すること

は困難であり、刃宦

側の記憶のない騒乱や関語も同

理りらないやう反右し自つ努力 | として好顔の多のであり、米喰みぬ、半路間層もま念この期待を | つぶで頃でおったゞけたな気が振れ、半路間層もま念この期待を | であし、赤いになり、米喰みのあったとび土 (万)になった。

のより壁る気候的効果を狙ったこ のは他にあたりは隣の効果そのも 形と聞くられる、米國短笛間もと

政闘機に至っては一般も対上ら

れく伝統に日本の不蔵

を振りながらな性かつ悪し得なか

わが北九州会議は政が久しく宣行 「リスポン十六日同盟」十六日の

らの情報によると示図の言語機関一とわが機能の制名酸感を認めてる

北九州空襲に嘘八百の宣傳

と際し米國ナショナルラジオの面と 北九州路座

機能状況はすでに関照されるで れたからやがては判明されるで あらう

|歴東十七日同盟|| 所職來他によ

一張成がこれを撮形する方法で

パリズバリと意見を滅べ又製家

整大のものといるも過ぎではなく どられなかったので質に施政以承 はこの種のものとしては従来強い 窓につくととなった。今回の心で

れが収めた成果について早緑に

際にも定らず結婚も研媒に俟たな

はならないとしても、非常な

成果を収めたことは述びない、中

韓總長愛國班に檄

はやがて開始すべき配値果散な一大攻略に漏を

数である。、健康の訓練等にも試出の無駄がある

念とへば単鉛のために一人ですむ所を一ケ所に四人も五人も の人が立つてゐた。農民が宝に帰るぬから

的にも前陣的にもゆとりが出來て來る、心のゆとりは誠態の感 異物・気息、対党の保証等人が同してやれば今よりもつと時間

びわが閉底、北九州に攻略を向けて死た、屋撃 を形成した米英は大鬼曲に於ても小笠原語島及

特して放たぬ姿跡をとつてゐるが、この決敗こ

酸の態反攻が始まった、北フランスに第二酸酸

ればならない

のやうに軽減が限り渡るとなると、ついく教ならば、誰でも限り切ってやるが、

この心の間瞭こそこの心の間瞭こそ

内

が持つ

Ö

內相、派遣隊員

を午餐に招待

電過 東京 したければならないと頻感した

「関夜のため路路の幼果エト」

(本) 小川昌芸芸術、 來

間路出死なかつたが、あの辺に

ある、今肢の爆撃を取行するため 動したことは感覚もこれを認めて最近その小手間へに印種収録に出

も原政な技能を与ってあるもので

島も更に努力せよ

地方観り文各班能温量の活動を超れ落初から積極的に援助し、

き、文字通り一個一

皇軍慰問巡演

容易ならしむるやう各種の便宜

もつて御内器金十四頭を前年に

野村 生七日年 即十一時 国内省

に対した国際特別中域形なるも、観客はに済即するため保管施設し、併せて乳幼兒の学と経生省では、早速消力接触。治師に渡し、併せて乳幼兒の学 一、ことのおり、日本のでは、「日本のでは、」」」、「日本のでは、日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、日本のでは、「日本のでは、日本のでは、「 聯金を無受した、殿力皆弥、鏡

保育所に 御内帑金下賜 に出類、松平宮相を終て右御下の入選定方を通道した 小泉厚相謹話

す、今や可要商業の生産が開おこの恩経に浴した次第でありな たのでありますが、本日取ねて び昭和十八年の三回にも 記録を資所に到しては昭和十八 でに昭和士五年、昭和士六

られ度く、又保質関係者におか 金国頭人におかれてはこの際い り京すが、國民一般なかんづくし、最前の努力を致了処悟であ 脚を閉制して歴史しの第一に副 いよ級超して生態級に挺身せ

を確保するは劉下の最前要等で成を用し、もつて続後國民生活 政府はこの長会則名しを疑問 **選者表彰式**

は置後、息字、珠質、仕上、庭院 が七十四名で、これら技能政士選

者は井内由太郎君(機器)ほか九ホテルで終行、旅誌館の個人受賞 名、悪魔は尾鷹造船所をはじめて 響るが云ガナウ日子明十時から 八個性、他長数を授促されたもの 合本産業報適重主能の下に密図 「東京地話」第三回技能脱線の

はく示だ偏つて敗れたることなどへお関係の有能さに励れ手選 の町型注別観をすぐつて観察するのは於見である、日本の防空1100足を踏んである、然し敏は近いうちに於ず來る、微烈以上 孫本王空襲で献みたがわが戦極の防空に伝え、その後の空襲に

円防・高・顔・間川 だきって帰る

防空第一課

日本は得難い

は出來ない。しかしこれでよいのだ、初めから完璧の施設で記 窓の顔散も影響を探索へて懸を聞ふるであるともご順形に合定れであり歌はことにつけ込んである。今さかかに行ってある明

察師りから横元式に或は地下層にと元階に押し返めて行びばよ いわけたある、既然救験の施設でも同じである、決赦生活の基

| 百円より没貨が日本、三年高明で然も毎年四元版の配貨がある。原轄は禁物、至島設明書 (今第十六次投資信託受付中—

柳町祭工場柳町國夫の一部には現在祭行中の手形なし

が発行をしるあり他出版あり、 一年 鑑 傷 造

一旦基色

なると一万円(二十口)までに一大特典がある。資概合の貯蓄として、我が駐の役責情能に例 しれだ!! 有利な新投資法

八・伊東首郎へは込れ度し製館工作を一番でというの金箔

原開综合的)

本就 東京・丸ノ内関烈ビル 京別府中區資金町ニアニカボ 東田 製 證 券 京 城 支 店

めば一般はよい、現在のものに「刺紋工芸を加へ一歩一歩旗めて が遺民である、待継ばにしても崇加りの穴を誇りこれに飛び込

防空施設は創意と工夫

文化協會、中華民國京城部領軍的國際は簡義語、馬賴道部、即領域國 角急場に間に合せ、しかるのちに一ケ月後一年後の手を打つの んでは何時までたっても目的を達し得られるものでない。見ら 泥縄式から完璧なものへ 増産の黑ダ 1

> る、この意味ならく泥鋼式を決して喧はるべきではない 極しつく明日の希望に生きる。これは阿奈にも大學なことであ 底をしつかり 踏みしめ 逐次 完全への 深に押して行く、現場に前

の振順後後のもとに中國院院公演 期間中成骸のよい茨坑路務若を降 昨年來一年を前別後期と一分して 探脳と指車をかけるべく政府では 生、軍需各大臣から衰彰してゐる 【東京電話】必勝増産の花形石炭 ヤ戦士表彰

ので廿日(九州のみは同廿七日) 要能者の鉛質をこのほど終った が、その第五回(昨十八年度後期)

一金國地方戦山間において衰膨状の 腹道式を行ふことになった

批談し得よう

が出鉄、約一ヶ月旬北文を振り 間と一般公演に郷土色もほど朝 事での主
説都市を服防、
島里慰

整行一行五十名计监督是企案指

日韓級語をはかるため、朝鮮幾個 半層優兵が進施間念に最重敗間と

中國に出發

王感识然是

義にして際した

震議中語等特別に居場の派遣員を

下七日正午内相官別に沿待、午餐. 金融内相は延端側の野を縮みため

下した爆弾の内には無駄弾は一

に六十億元の巨墜を授じ五十高の

好解金することに申合

が関係人會では毎月十 では毎月中 では毎月中

教育全国の町目も一新されたわ 兵器區校卒業式

かられる、これで交別通り半島 を打破でたどころになほ一階度だ、特に頻繁でこのやうな数字 七升に割し、強ど倍に、近い收穫

歷

及重**撒荷造**

西京大的资本部间的历史的变 2000年 自身签定 2000年 自身签定 2000年 2000年

文部等方を確し、 文部では選事

万といるのみで、これを明からついては依然として「支那四部地 したのは今回が初めていはなく、 してあないが、自身が低級に出動 と語家員が述べてあることからも

恐怖の爆撃行 敞特派員が語る體験

、二夕家、虫京南 波紀虫雲伯美風、みの 瀬景に用奈彦 原洋春石立 ENJESERESER

(部別別別)

會員諸氏に機す

併

文人報國會

行、際意風生と劇場品が厳選され 分より神奈川城和模原の同校で建

| 安徽式は十七日子明十一勝四十

耳鼻咽喉科 医学博士

京城公平町三六

當求末假實深 即摘 純国佛受解證

心語」 陸軍是領域を持官場

持って恐怖の職場行を左の如く職 して同意陰関政をラジオ放送して 屬、大旱经療學院 施めて興奮した国

は十六日大手通像を皆に近て駆行し 「頭海」第三公立國民團被開根式 鍼海で 製民校開校式

数学を五回から十国に引上げ十七

保つため世話加入者の引込続の移

地方質員代表 も既に入城中である。 在城會員り 府民舘中譯堂で開かれる。 満洲國代表並にり 府民舘中譯堂で開かれる。 満洲國代表並に以て怨も之を難退した。 此の秋に當り 在鮮女以て怨も之を難退した。 此の秋に當り 在鮮女

金部よびその他の料金との均衡を

移轉料引上げは簡潔

日から近施した

米中語に大洪水

ればならん。悪つて御出席を乞ふ。
の以滅敵の氣勢を暴げ、半島一干五百萬の総

尚は服装は男子は國民服に祭脚絆

諸氏は本大會に全員出席して前線の將兵に劣

見よこの赤誠 海軍武官府に五 月中の戦果 Ź

「リスポン士八日同盟」 ワシント 一河田 一分郎の報告によればミズリー河司

水でアイオンがスーン市からミス

朝鮮文人報園會事務局 端人は「モンベ」を満用せられたし。

納金品は戦闘の態度と 共に湖の如く國防献金 に伽兵金に成は伽兵品

> に入ってからの指記を行でも一下五両エーカーが水法しとなり六月 リー州セントジョーゼフ市間の内

配してあるが、五月中における國 として受國の赤賊を結 リなく針せられてある しなく針せられてある。 でなくがせられてある。 でなくがせられてある。

とはおかねやうな。最最最りであ のことか「強隆限に新紀元を制 念が、彼像はいつれる『際思的 ませたといっことだけでも観像出 NC十一名もの新聞記者を飛込

しかしながらこの国際はお

たもの』とが米國民を招覆させ

って完全に極の皮を剝がれてしま

と公報をもつて確認することによ

際によって相当の攻撃を受けた

干加な除水部が一日本知数は後

蔵べそない、心臓

私の同報し

つた、欧の耐大量原は望ら

問題の田別を浴びた、わが同衆するで猛烈な高射砲の射域と探

1337-9786圓95錢

健馬增殖運動「一 属の墩盤部界上から 機馬の西風、徹成迦 三百萬那に迎するといはれる

放路圖 18日

の週間録音 12012 (43/18)

《各百貨店有名店にあり)

教育させる衣料に示す主婦の御奉命と類別は断然見合せ手符品を新生で三倍に

るの意

昨年の相談を避かに

「夜 本六・〇〇少國民の時間、

楔 型竹倉太夫 ■ 整次夫 ■ 整座子本

せさ持永に倍三 時同が着糊水防 る來出に 婦人疾患に





人員の交替、休息所の完闘その他われ等の生活の全部

だなくなるのである。また緑原斑疹でも一度や二度の空▼の指環をとり得るし、毎日多人敷があわてゝ脈けつける必

度することが外更である、毎夜のやうに微電が関し始ま、これ、数の実験が問時に対しても国際的影神的振労をせぬやう法 に防器観を初めすべての人達が身心を勢してゐたとしたら、し には疲れてしまって戦争は出来なくなる、それで緊硬能な 動かり、又は質能質量で調意工夫を行び、吸の攻略に過

景順下の生活」に切りかへることが必要である

ではないか【容蔵=韓原田線長】 層部化し経滅時の際にも一条跳れぬ行動で内地に励るとも

にある私共は威に心臓い、然し日本に

はよいか」と次の頻玄関を飛ばした

事に刺言ればなりないとき、 問題他長は十七日 「帰國班の離へ 関連防空降は一致協能、路梯設を完備して破機を配目に

> しい明鮮の設を知る上に大いに役 解の紹介。意像を内地に行ったこと 火各方回においては「独横的に胡

は黯然火をふき北九州では岩ど損害なしといふ縁度がりであつ 後の手として神経版をねらつて來た、これに対する統役防空陣 物質を持む反攻の必がきも必断星軍の前に不帰候順の関節は提

とお行る
別学院等
はどうだらうか、いまこそ
繁

今回北九州をおらうを後に寄しい活制と被制をもしない紛らに北九州をおらうを後に寄し訳のみをり示したわが防空部

立つきとの解を聞してゐるこ くがこれを機能をしてある、

(翼翼編集)品持所者乘搭29B敵たれさ墜撃で州九北

北のではなく母校に

たが、原来書物が今成の左頭で得 部職を駆けずにはあられないやう

かし一番優が強弾を投下すればいた個かれた、この間様は多数のに置かれた、この間様は多数のに置かれた、この間様は多数のに置かれた。とのはないが、加上に関へを指導に不明である。しんとは、

盛か二級、しかもこれは日本垣 一会回の経験で喪失した機嫌は一

へば暗頭街は造初

しいふやうな話と極順遠陽機関の

てしまつたらう!

留つを随軍第二十航空院本節はが、その順後に直接機関の指摘に

裸麥反當リナー

めるが、種子は局原で同校は昨年

等で五石九升だつたの

整備機吹蒸炭団▲□・○○○

全南に天文學數字の大増産

「例によって出席目秘裏を行った

よつたのだ。

盟加した新聞記者の談話に至って

と記録くや度に鉄速な活動を開

全年度期制理食出品の参阪等に追っ内地一として選ばれたのは地大陸

機関板の政治地における生産的で

つた数字が生れるものだと道、田

のやうとしか思へなか 地西村公司

世一食どがある。 二开、整盟权

夏川部江お伽賀梁「桃太郎」吉川 七・〇〇世界の戦局人七・四〇子 HO國民合属「傑はどへ君は押へ」

供と家庭の夕、物間自合語大臣

機関リの部最的数字を打倒てた環礁関語がある

アンといはせたが、これはまた「度ひつくり、象質で反答十一行九計四升といふ客に活躍的 正外体語」さきに全時では認問日内の長野関氏によって一種九十位の約出現に高度家建を

日本高射明時以後經校如自衛

添放なく機能してある。 機能に

一般表して微微表の支柱が設振り

最失機は全部で四級である。

た後、全国の企ての中心者の一人 が内地における行事を全部終了し 前指図を勝ずることとなってある 階頭かしきものとするための

今回の計算に耐して中央の情官太中将は次の如く脳へと

みと歌師を楽しると云ふ、だから この物體に血の通った報 子のやうな親し も巨大な機械力が時に休人力ら岩線など、低工を配してゐての無理を立てくるる場だ。いく う胸にはゆかぬ、そこから多少 出級るものならいですがね。一した、いる出版だ、どうしたこと

か経統領を連る機関東が一回にそ の製を現はさないのだ。必死の通

化し個れるもの一切を理解し去る

ある観像係の例を貼してくれた

第00高端の出続時だった、と

工は全身を流れる際行で傾倒の肥

作業台の

金銭が出して快

瀬氏研究による一郷九十 い数字だ、先政宗は呂内 い数字だ、先政宗は呂内

るか日と保たない、スフ慰のも

ンかな何を減じない、密鉄鍋は

技と解析し述くから思をのんで有 か、際いた記者は常草く暗書を足

日間であったがその時けたくまし 概念のまるりた、まつたくだい数

くなる機関車の機関に多数の工員

も問語もボッと年音をより戻した

かくる事故を 天然に 助止する かくる事故がを 打診する ことは と経頭機が似は間に限義の暗器 概念らどはしてさめ 性を非難しきなうなつなら順い

勝つためがあっても経験というかしたうりたう経路は一派 盤の火は前せ弦せんからおりと一の対策もなくその出続を続いてる 「る、佛殿するノロ(城隍) 広山口 絡のはては関軍の改成が告げられ

逞し鐵の心・鐵の軀 をかさがれ上へ解り続めてゐるの 関していっ早く話げいした記者 らればへられた船級の流れは 際人物があった。高級ない のである。器型くマットが突き破 火龍の勢 でがほに溢むし

申一台程ですにすんだ、勿論でいからても連続は外され機関する。

高層から明美田古むた統領が影響

とを身に必らて感じたので

競場の投入作品は大きなスコ から回の成分を関係するマンガン

し川聲してゐたものは敗格手での目に願れたもの、そこに散熱

ツブでたえず行はれてある。対燃

てりは五、大日間とつても、途 した個日を呼げるとカッとしたほ

日の別号となり、レールとなるし、栄を持後の一片々々が明

り機能に抗しながら特別的と機

休園の如き心であり、殿を左右

巨大な能入グレーンで顕石や時辺 のだつたら一日でポロノ

くになる

変数大する的も場合し口の反射能

の限り機関士に大火傷を引つ

問題さで情報を聞くてある。名に

の説の別りを名前の診論にも似た どうしりと頂きを添くて咆哮す

解程度を誘列したりするそうにな

と云はれてある、独似の風竹を問 るまでには早くても一年はかくる

国が出来る際になるには文字通り **含分けたり、姓入原料や島嶼の朗**

ととでもめるのだ、工質が影響であることである。それは最大 クすることである。それは最大 クすることである。それは最大

の出版が近づいた、欧洲面をかぶ

がれとなるるがは、高級いつはい

に認定してあたい政第〇〇般緩緩

とある。時けた。れ、油じって勧

作製衣をまとった数名の工員

州の先に附着さして成分を削べ、 院を限ることが出来るはい影響も こそ紹列に立ては暗それだけで個

親穴から解内の絹の色で統数の環

を浴び

て平氣

練られてある。、硫れ出る繊羅を燃

「風魔は鐙々の風音で作製場を図

のしぶきをおけ、併立する

(中)

名の基の小型協

際にキツと組んだ口辺にうかい

然の光に浮き出されて照々と光る で見えても上日辺の 新型では日

常地面には一トンでも除針良行 な状態を生み出さればならぬの

回去り組をつくることである。燃烧の不完全から密気が関内で

に製まり、京議議がは原風が尽と った。統領工が統
軍を主に協出し口

のマツトを突きなることは出来な だったが終め来ない以上が出し口 だいの口言で上昇したらお仕場び

と血の気が引いた、域に溢れた場

ギングの修規作製であつたのだ。

たところは然と氏いなしてあるや にとっては至上の総則なのだ、み を間はず密節型と取り組む工具 照完了於セナノ大品は、不帰一

切れぬ回符で工長がいたはつてく 期結別がら強調しま工員員ごとう のいたでする。また経の解り もいじくてならなくなった。

て助かしてゆく謎ですがちょう。 動所では一切をは極の手によう

び込んで取びを指む機械には油

で、畑内に送り込むれる子 こ人はまた高麗におらの高部門の ぬ、いはゆる精練作業なのである

かとてもくっては細し切れない の他の不規物を除金法らればなら

なるには近に平城を終て成れる はれる、少しいの火花や燃料のし 込むのであるが、機様工は高けて それを一個位学的まで読んで投げ、 ートン位置は発行の行動を行るとい 行い文学ななアーンとなくなる

もがくないといるから、郷の島間 る。別知の如く説々と立ちのほ





慌てるなく急病

も熟金でけることには別別はなく一かうした影響の場合には必ずしけることです。しかし北隅も水松」にして監督を得つことです。次に

醫者が來るまで安靜

一般家庭ではあ一ですからまつ配当に診察して取っ

て病気の水陰を確めそれに對して

を水地に替へて、手足は間めるや です、繋があって手足のつめたい たい気分を 割らげるための もの

変励してある時には水枕

のです、西部(瀬田)で間

励するか下棚をのませるとであり

観心情報とその 問

しても対象があります、様は一級

ます、恋に流が

(ひきつけ) した際の

リスソン、

一般火でなくてもい

灌腸 まごとで、野しも

と 関係は、これがに続くなるので、 お問をとはしてすべので、示判、 の 例時、情じが怪等で高い場を出し で、大力で、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、これがに

(城大規院小見科和見教授)

の仇を、願じて終っ一ご うの印を、マキングラワ

歌師でる

配用即籍のは同群に一強死間

るのだ。アツ

體を発し、廿日から時内一等に る配際重が提供すべく三の列音新 が政時間等に前題と、第三利用指

野球が採中はあるの登役

こなると、「国際の理論で一

中止でこれを知ら

なした、この間の高いは疾行 ~

まず、なは同時に何を図らずこと

ンが明りつといて一回会りで続い

要領を信じ、政権が関心と

頭の掘き脳力射開教官研究階段

答の歌劇報は三分間サイン を何数が下るが、脚節の頭頭を式

イレンが鳴り、八秒間休み、之を るのります 一気を表するかのす やる数やことなるは影響。心臓

期以上の好成績で終ったが、動

やるが、鍛へた狂水技能を設施し

常加強は特設防砂伽質並に一般

性施することになった、配給要額 いて研究を練つてあたが廿日から

劉玄、陽神及び杓子各一個7つ 新たに一戸を祝へたる当に限り 新たに一戸を祝へたる当に限り

代替品必然指用とに區別し新婚額に限定、これを新婚者用と

問述直で、防範囲員はボンプ

所、密防壁の協力

関係なき健康を注げ同五時散物火、熱聴など防衛金融に関して

男子と同様と統を執って決戦場へ「地の重要工場に送らうと、先にそ」

行から十五日ま

應募者を突破

女子挺身隊

燃える若い女性の誤なに聞くて

突咬するものと見られてある

上で廿日までは一般教養を一般を通じ

である。といる方名を見違に一掃

してある一京観道では朔朝の熱に

女子動物挺身際でを極成して内

檢點 備設

出版では一日から **強いまでが**

流、脳田野長とともに廻日、朝 微峭に整國班の防空指導を行っ

在水、防火技能を普遍的に緊急質

注水訓練競技會

婚者に鍋や

は原則として右の基準によるが が、飯業、杓子の内一個短船給

代替必能器用の場合は一時に多

指定の配給店で購入しなければな 一米穀漁機を添く所管属役所に提出

数の配給に困難であるから降縮

念う思望してある の出來るものは他方見牛利用す アルミ製品の配給要綱

つた大村繁節主任は、いまのし 、時から砂土町まで使地指導に

の理比徴底とと川壁を調では七 際質問せしめ、もつて自節消防力 月八日、大部率減日に桃山迎動場

アルマイト既遺品の配給方法につ 原城府では家庭用際金値アルミ、 j.

息の熱が欲し

曲げょうとする力がかくる、又波し

でより過ぶたの間

八村警備主任から注意の數々

で観察と同ちより窓側の差別を強いて削減へ急のみと観客の音をない

りに志願者が毎日押すなくと授 たしたるな在くのは今だとはか の回場接頭を破裂したところ「わ

到、道、府の影響では暮んであ

※千七日から 町質を消じて 開始

州、曜二、殿州、(水原) 茂郷川、紀年(利二) 二利川、郷

網鄉鄉鄉

始期、安城、平岛

つた。彼の若

京な 登 海域の地の

· 解理士 松宫臣董 松宫特許 事務所 原元 · 松宫臣董

月世山日士

憲流 者剛ス

大人 那三場

郡守にも登用

整課では第一回を開太の示給

乾明太の配給「川路

も職場に選出レー機でも多く道つ した。

を深くしたり、デーゼル船でははこの1、重低に水を入れて吃水

カを残して盛く必要がなので初

版力增弱教育或研究過數會(所謂

海

00

鄭文雅(給) 李無影(作)

内外属業別の開発を

₹2**8562**

17 全5 日

浩 場訓-

沙 性病科

新歌音 作劇 園

O 14 店。 核越

主催のもの)は各班一回づつ、第

水を貯へるタンクとらなる人水油を貯除し、蒸汽船では汽路の

い時代からの船の貨幣になってあって上向きの反がつけてあるが古

会衆失=船の甲板線には過失とい

台貨車四十辆で一列車を領成す

商垣間翻防船化との一階化を目ざ

的際成の徹底を押し教科經常と生

は、仕事に飢え通して生きて死て

を付むことが出來る、これは十物別には筆量で約一萬幅の貨物

る、然し近代の大型零船等には報

勞務懇談會

の機器、研究自の要素、肺師指導

殿芸能の強烈な常地共の他施設

放送を、おろそかにするのでにな

五番でがす。

織雑文門士

子・杉原 かい まっと 十一日まで

ル隊

のさ

月ん

劚.

を随るため時内一様に終めと対す

船にかゝる力と気 た然等からの水の縁

役目をする人的行一即骨から左右一 只能の作に通って人間の背信の 船體の構造

侵水防ぐ二重底 七千噸の貨物船は一萬噸運ぶ によって質切られ、台間が明つ

趣べようとする、双

ある、人間の肋骨と同じである▲ への意水を防ぐ外、網が空船の 地し高一外部底が被れても船舶 を指したつてゐて船舶の場合を 厥伽に何百本といふ筋骨が並んで | ▲一面は一切の一切の一世 助骨を隣に結ぶ人外板=人館 い、又古い時代の曲はとその間ところで打ち切り職種は安全な学い、又古い時代の曲はとその間は大きながあるからからのからない。 が、又古い時代の曲はとその間と大きながなが、知られば物の取らを明る なだ、知言はが中央地では、 のであるのか普遍である。 一般 のであるのか音遍である。 のではないながは物の取らを明る など、などは経過というて甲核と中央地では のであるのか音遍である。 のではないながない。 ると共化船の一部が指摘して浸 たりへこんだりしないやうにす ぬがれる作用をする本形頭り出 一る、最近では影響がであっても工 部での奏失も属し水平としてゐる

中區(十七月午後一時)城東部(十九日间)劉新區(廿日间)野大門區(十九日)、大門區(廿日间)東大門區(廿日间)東大門區(廿一日日)縣(廿日日)、東大門區(廿一日日)、東西川區(廿一日日)、東西川區(十二日)

の四ケ所である 変配三ノ五〇 の名前一ノニ 2一回が職場で

F

で閉修する、何野空頭組織は左の

と即座で置つた。

モニース館とでもと誘ったが、彼

野士は、威胁した。同だが、耐べ、けつそりと観せてあた。

いや、潜です。仕事が行しい

我が子への整朝が、今日の文明を それも弦知してゐた。朝鮮母前の しめなければならない。開子は、

原子は、何だか卑下したい気符の方のお仕事?」

数章に適してあないことを、量子しかし、確大派の作格が、女生

プラしてく その一三時間が、

のた。朝鮮な記録に能理解が以来、あた。朝鮮な記録に能理を確て、今や國民党民に向

旬本災器店

登録書か

関っむ

日の佐船電芸

劇團

群

一 星

は一層節水平 要であるが夏

道では昨年度以外、昌町長の

色面長に築進の道

面は極少数に過ぎず、今後回面長が、現在まで暖光面長を配慮せる 登野间上について力を注いで死た

> も、昭玉は思 頭弧器或

豊田計理事務所 豊田計理事務所 意識の指導技術担決算事務

太平洋 遊 傳

により代替品を必要とする者は新 らない。一般家庭で既有品の破損 明督を受け現と所定の購入申込俗 し断入切得の交付を選げる。但し の指導力側化協充を図ることにな の原像院上に格唆の努力を押ひ回

つたが民間長のうちその成績の第 を映へるため質問に内甲する方針 鑑なる機會に都守などに発散の途 門でと認めれるものは にして任何の監督ある指は今後適 国面景候補着は異に顕著にして

会。週 び所能器察官派出所の診問を受ける指に一雌の強國的長、維要、町機能代及

◇…此を決して駆撃の投 判する神兵の姿を振へ、

購入申込むことになってあるが占

日を受けてから特別指定的領点

脚の空國四長、糾長、町會域代及

けるものは所定の飲給申続数に所 なは配給手類は新能者で配給を受

一百物を指定の回収架者に限置し、

あらいつたかと 思ふと、

ぐらなければならない。第の奴は と同時に、質の仕事でもありま

際と考えて、朝鮮と一大道給事場

有美数

國務組 韓 國 十 國地國哲 青 区 区域の源青

舘 美 優 場劇寶永

國一今日常

でである。 を表しています。 をましています。 をましていまな。 をましていまな。 をましていな。 をましていまな。 をもしていまな。 をもしていまな。 をもしていまな。 をもしていまな。 をもしていまな。

際

って、明へられたのだ。國家の大 ぶりの事業が、今、彼次の父に依

から、自分の存在に、窓頭にも配

お

お答はお客のご持参 放すく整理するが影響なる目面提 を指す後に気逃させる器が指いた ごとは関連的試みで配る注目され 質用する反面、目面行政の場新規

おれらは目が生活の上と

市野商店(根井町一九) 光食館

省を繰り返さ この瞬間にも

海洋鍊成會

心から関われるものでもない。といから関われるものでもない。といいかし、これがいる。

位女の口に親って來たのである。 ・ 今朝の祖大派は、映く

を解析と自然する気持にまでな は思ってあるのである。だから、

用

族を撃て ニュース ピウ調型局 ピカリース

をされても、心から彼を悟ること

ぐ、心派では如何?といった口吻いといふ選手だ。何かいふと、す かか、まるで意頭にもおいてゐないそと出て行った。彼女の存在な

食堂經営も決戦即應の態勢 の開店は同時一体來母養時間はる(七月一日から智順)人母養 領成會が備されるので仁川旧内か 穏浦の所所に於て存住訓練指導者 部方明解解型部で含むもは、 らも風後聴音だちて込名を動加さ 擬軍団境、教会技での化で七月 参加者を鈴衝

然を除去してゐるかを、よく知っ」は、彼が、父の事態にどれ程の問

仕事は、といわなほさず、彼当身であた。彼のいる誰り、今の父の

ソ波の仕事をといった方が、却つ一に用ばれた。図白だった。

ばかり聞えてゐを紹む一切、指 じさらにもない。でこへ、暗意 でれから、とうしましたの!

一個とる。が、寒気は動

。兵隊さんく観覧に

ることになったが 日間がで一四封団 日間がで一四封団

三計

間人の残余を掘って初間というのでは、人

なりであったのである。西野子 野がれ切得大派なる人物を、脚下すること のである。 の感情を瞭暇して見たところで、が出來ないのだった。いくら自分

うやら、口を鳴つたやうな様子な に觸れなかつた彼が、今日は、ど そして、水脈ひについては、終料

等工艺·罗克斯·斯里 探 用

棉花器

で選択をいるという。 「関係中国教育」となる。 は、「大阪」の一般等

組改造物

喜

鐘淵流衣

種路長安ビル 皮屬 **性病科** 废字博士 金林星獎

の最生活の無駄を挑殴して実践る

が食管風合聯合型では食品の苦

究講習會要綱 げて脳力の機関対理を励るため別 消息が観では國民国後の一切を始 多名 同地工物的企品等 此丁音がを加して監帯援略回では 院の個を聞い、好成果をありたが く、目下的議院関係でするめて は漢語で第一回に丁水が

原展の問題とう呼ばれて日子 でお車をかける役居 際防團線成大會

中日1氏は一年五百回を備兵金と中日1氏は一年五百回を備兵金と 即十時から加東原士不断河口の場 で鉄成大量を開催する 忌明献金 (川路) 中 所金 语用工器经言错误

何などうしてよいのかさつばり物

知ってある方が

一酸として沢松、水松、水酸であず

また。金中で出 質の、指示によっ

ことです、たいし大人であればそ た三路をしたらよいか、ちつか 時にはおります、その時にはどん 適當の手名をするのですが、熟は

高野·客、個

らないことが熱いやうですが、こ一の奇したことによって、ぞくく

の開発手站を崩すやう一節りの知 んな時には複数。茅に出來る限り

すが、意思を表示することが出來

た。十時になって野野殿

るものがおった **受然としてまことに気持ちよ**

せることは危険で、それが気気に

は形成を同じ信託で、三分間サ

戦で呼んだり、むぐみに続きの宗 るめてゆったり古せ、平耳く翻説 つた時には合し、ポタン、物をゆ をよくし、安然にねかせ、然のあ

な子供では、質問八里元分以上 と気料が悪いとか判断がつきま

は火枕位でよいのです、慰齢期の

氷枕 いいしがぞれるかく

〇度もあつた場合には、小さい掘 りとぶし位の泳を枕に入れて寄し 理に心臓部(左の乳の下)を沿着

然にあわて、高いの数の数を検索・関の時間がながい数と所は孔ます。

サイレンで同時に個形が見ててい イレンが関びますが、この一回の

ます一部被刑報解除は口答で、

関係と選挙かいます(悪情に

い、自動を図察道の開金、自成を

サグラムからサグラム、祭

せることはよいなってをはしま

が、長くても一分位ですから決し

左きなける日日の日の間に際

八日京城を出版して一路北京にない朝鮮歌劇剧の訪問へんははよく、













興

職業紹

介

所

















医学博士



天門所 即加門在







科"分 科稿門取

朝鮮化學工業有限會指鹽期間

十五日は自体の臨時計画観察に成て金利はの一致を以降を適用しい場合を選手である。他が名は四十九年八月十八日を乙族が東には述るる他が名は四十九年八月十八日を乙族と

其他窯業原料 會說 林 友助商店

所

菱製鍋珠會社京城出張中語品的工程。(京城縣) 下一個以上行送があれ、

二共のメルクロン 代理店昭和實業株式會 明祖 電熱不局五八一番

種子と土壌の消毒に

增 產 に農 藥